

【緑地を楽しむ本】

『はっけん！オタマジャクシ』

日本のいきものビジュアルガイド

写真：関慎太郎 編著：AZ Relief 伊部朝香

緑書房



「モッケノマイコ」「ツアタビーングウ」「ババスコ」・・・すべてオタマジャクシを意味する方言だそうです。（ただし、「ババスコ」は栃木県の方言となっていますが、栃木生まれの夫は「聞いたことないなあ」とのこと。）

A5版の小型の本なのですが、写真が多く、そして美しく、飽きずに眺めていられます。生態についても詳しく紹介されており、オタマ

ジャクシの歯列の写真や、その表現方法である歯式の解説まであり、なかなか専門的です。

どちらかというところ「かわいい」という印象の日本のオタマジャクシですが、海外のオタマジャクシには水面の餌をとるために口がろうと状になっているものや、皮膚が透き通っているもの、エイのような頭の形をしている肉食系など、変わったものもいるようで驚きます。

あたたかくなってきました。そろそろ水辺で出会えるでしょうか。

(遠藤)